

チームP: Team PARM (Pro bono Activity for Regional Manufacturing)

リーダー: 福井

メンバー: 船渡 都築 金 岡本

活動休止

★活動休止理由★

以下の理由により当面活動を継続することが困難となり、本チーム活動は休止します。

- ・中小企業との交流活動は相互の信頼関係がないと継続が困難であること。
- ・目的が明確で、細かな提案能力と時間とスケジュールを責任を持って進められないと取り合ってもらえない状況で、企画の甘さを認識したこと。
- ・所属企業の合併に伴い、リーダーとして企画推進する余力がなくなったこと。

提言として、地域企業との協働をテーマとするには、漠然としたテーマでスタートするのではなく、知り合った地域企業とこまめなコンタクトを続ける中からロコミ的に広げることが好ましいと思われます。但し、このテーマを塾の活動とする為には、まずはじめに、賛同されるメンバーで小まめにコンタクトを取ると共にスケジュール管理できる体制の構築が必要であると考えます。

I. 活動テーマ

「地域のものづくり企業の技術経営の情報支援を目的としたプロボノ活動」

地域企業の活性化、競争力強化を支援するため、コアとなる地域自治体と共同しながら、
”地域企業と交流を通じて、未来塾塾生のポテンシャルとアイデアを提案していく”
エンジニアリングボランティア(プロボノ活動)です。

コンセプトは、地方団体・地方自治体のコア組織と共同で、地域の企業集団の共通した技術課題や、技術経営課題を事前にリサーチして、塾生で交流会のテーマと提案提言・運営プランを作成します。地域のコア組織として共催して、技術職・技術管理職のお役に立てる情報を提供します。

II. 活動状況

2013年

3/21 大阪府商工労働部 領家参事にコンタクトを取り、市内で趣旨説明・情報交換を行いました。

4/6 市内でIT-ものづくりコラボセッションのGoogle JAPAN社長のパネルディスカッションに合流し、参加メンバーと情報交換を行いました。

4/20 拡大討議の場を設けたかったが、商工労働部からのワーク先の賛同が得られませんでした。

4/21 KNS(関西ネットワークシステム)を通じて中川鉄工、岡室製作所各社長とコンタクトを取りました。
両者からは前向きな回答はありましたが、具体性と情報セキュリティーの課題を明確化し、課題を解決する必要が判明しました。

4/27 企画ミーティングで活動を具体化して再提案を行いました。